

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【118】

2. 日時：令和4年3月15日 13時30分～15時50分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全規制調整官、植木主任安全審査官、千明主任安全審査官、服部（正）主任安全審査官、三浦主任安全審査官、岩崎安全審査官、宇田川安全審査官、藤川安全審査官、服部（靖）安全審査専門職、谷口技術参与  
技術基盤グループ 地震・津波研究部門  
堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他14名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 課長※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	原子力規制庁の岩崎です。それではですね、本日島根 2 号機の設工認のですね被水防護に係るヒアリングを開始したいと思います。早速ですけれども中国電力から説明の方よろしくをお願いします。
0:00:23	中国電力の仲西といいます。処理して防護に関して説明させていただきます。まず、
0:00:32	まず資料の番号を取らしてください。八つほど資料がありますので上からナンバーと資料番号を申しますと、
0:00:40	ナンバー1N-S2 ほか 059 回 01 です。
0:00:46	No.2N-Sに、
0:00:48	1034、これが 1-1-9-3 溢水条例の設定になります。
0:00:55	ナンバー3、NS2.1036。
0:01:00	No.4N-S25015 回 02。
0:01:05	No.5NSに他 082。
0:01:10	No.6N-S2.5007。
0:01:15	No.7ms2.5015。
0:01:20	No.8、NS2 歩 031 回 01 です。
0:01:25	まず前半の部分でナンバー2-6-1-1-9-3 溢水評価条件の設定と解析プログラム計算値プログラムについてご説明します。
0:01:35	後半の部では、ナンバー3に基づいて、6-1-1-9-5、溢水防護に関する施設の詳細設計について説明させていただきます。
0:01:46	では早速ですが、まずは溢水評価条件の設定について説明させていただきます。まずは、資料ナンバー1 の、
0:01:54	認知際適正化箇所をお願いします。
0:02:01	2 ページから、今回の変更点を記載しております。
0:02:04	あと、前回の説明と、10 服する修正もありますが、ちょっと説明の中で、適宜触れてご説明、
0:02:11	させていただきます。
0:02:13	それでは資料ナンバー2-6-1 の 1-9-3 をお願いします。
0:02:20	目次 2 枚目の目次をお願いします。
0:02:25	文書は溢水評価条件の設定につきまして、水源及び水量の設定、その後溢水防護区画と溢水経路について説明させていただきます。
0:02:37	1 ページをお願いします。
0:02:44	まず概要です。本指導は、溢水から防護する設備の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:48	定性評価及び補正物質を含む液体の管理区域外漏えいに関する評価に用いる溢水量及び水量並びに溢水合格水準設定について説明するものです。
0:02:59	Noへと2ポツです、水源及び水路の設定です。
0:03:05	想定破損及び、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水その他の溢水を考慮しています。
0:03:13	当説明につきましては、IPからの変更点、また、他社と相違があるところについて重点的にご説明します。
0:03:21	1ページ下、2ポツ1をお願いします。想定破損による溢水です。
0:03:26	EPからの変更点として、2ページの上から3段落目をお願いします。(1)のイ杉野セキの上になります。
0:03:37	ねり配管として運転している時間の割合が当該系統の運転して時間の2%、またはプラント運転期間中の1%で小さいことから、低エネルギー配管とする系統につきまして、
0:03:49	高圧原子炉代替注水系、低圧原子炉代替注水系及び、
0:03:54	残留熱代替時のSA系統を工認から追加しております。考え方についてはEPと同じです。
0:04:02	3ページをお願いします。
0:04:05	3ページに、5章、2-1に、
0:04:08	大貫はい購入する系統と想定する破損件所を記載しております。
0:04:13	4ページをお願いします。
0:04:17	4ページの表2-2に、低エネルギー配管を有する系統と想定する破損形状を示しております。
0:04:25	5ページをお願いします。
0:04:29	今回変更点としまして破損の想定不要とする丁寧に配管の応力評価結果を表2-3に記載をしております。とEPからの変更点としましては確定なので評価をすべてやり直しておりますので評価結果が一部相違するところが出てきております。
0:04:46	と、また一部誤記があるのでこの場で訂正させてください。
0:04:51	今日2-3の2分の1の一番下に消火器としまして解析モデルFTWF1FTWF1SPFTWF3SP。
0:05:03	とありますが、2分の一番上段にも同じ記載をしておりましたので、22回というようになっておりますので2分の2の消火器について、今後、修正して適正化いたします。
0:05:20	続きまして、8ページをお願いします。
0:05:26	8ページに想定破損による溢水量を系統ごとに示しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:31	8 ページの下にポツに行きます。
0:05:34	消火水の放水による溢水です。
0:05:38	9 ページをお願いします。
0:05:41	9 ページ(1)水源の設定においてですと修正点について説明します。
0:05:46	2 段落目に消火栓以外との設備としてはスプリンクラーや残留熱で各納容器冷却モードがあるが、防護すべき設備が設置されている確認はスプリンクラー設置しない設定とし、と。もともと建物でしたのが、
0:06:00	防護する設備が設置されている区画に修正しております。
0:06:06	考え方としては、基本方針の 1-1-9-1 と同じです。
0:06:10	島につきましては、aポツ放水時間の設定において、火災元が小さい場合においては、火災荷重及び等価火災時間を用いて放水時間を設定しております。補足説明資料で詳細を説明いたします。
0:06:24	9 ページ下にポツ 3 の地震起因による溢水です。
0:06:28	水源の設定としまして、地震起因の複数同時破損を考慮しております。
0:06:35	10 ページをお願いします。
0:06:38	10 ページ、(2)溢水量の設定です。
0:06:42	1 までの特異な設備として大型タンク隔離システムによるシステムと燃料プール冷却系弁閉止システムを設置しております。表 2-55 に、大型タンク各システム、
0:06:53	地震大信号括弧で、原子炉スクラムにより、大型タンク遮断弁を閉止させるまでに生じる水量と系統保有水量合算して、溢水量を設定しております。表 2-5 に、
0:07:05	各系統の推移を示しております。
0:07:09	また、燃料プールで着系配管につきましても、
0:07:13	地震大信号により、燃料プール冷却系ろ過脱塩装置入口弁を閉止させるまでの間に、
0:07:21	帳じり水量と系統保有水量合算して設定しております。
0:07:25	次のページ 11 ページをお願いします。
0:07:28	小児の 6 に燃料プールで着て、
0:07:31	分平地システムの類推を記載しております。
0:07:34	表 17 に循環水計画システムの溢水量をと小児の 8、タービン補機海水系隔離システムは、津波の主
0:07:44	津波防護に係る施設ですが溢水量としては、こちらに算出した、したものを記載しております。
0:07:51	12 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:54	小児の中に地震起因による水量を全景と記載しております。
0:07:59	(3)燃料プール等のスロッシング利水量です。
0:08:04	燃料プール等のスロッシング利水量について12ページ以降、説明を記載しております。
0:08:10	EPからの変更点についてご説明します。
0:08:13	ページ15ページをお願いします。
0:08:18	15ページの下、cポツサイトバンカ坪プールのスロッシングについて説明します。
0:08:24	サイトバンカ。
0:08:26	建物について、放射性物質の漏えい防止の観点から、あとサイトバンカ貯蔵プールのスロッシングを考慮した被水評価を実施しております。
0:08:35	放射性物質の漏えい防止に関する評価ですので、適用する地震動としましては弾性設置用地震動SDの2分の1SDを用いて評価を実施しております。
0:08:48	表の2-14に解析条件表の2-15にスロッシングの溢水量を記載しております。
0:08:56	18ページをお願いします。
0:09:01	最後にその他の椅子についても考慮しております。
0:09:04	(1)地下水による流入による水。
0:09:08	と、あと(2)地震起因の遅延以外の自然辞書に伴う、(3)機器のゴソゴソ後作動等による漏えい事象を想定しております。
0:09:19	まず(1)地下水による流による溢水です。
0:09:27	地下水の周囲の地下水の影響を考慮しても、防護すべき設備を内包する建物内に地下水が流入しないようを、
0:09:35	地下水位低下設備、地下水位低下設備を設置しております。地下水位低下設備につきましては準地震動Ssによる地震力に対してその機能を損なう恐れがない設計としております。
0:09:47	(2)地震以外の自然現象に伴う溢水です。
0:09:51	19ページをお願いします。
0:09:55	19ページの表2-18に地震以外の自然現象による溢水影響について整理しております。
0:10:03	20ページをお願いします。(3)機器の誤作動や弁グランド部配管フランジ部からの漏えい事象です。
0:10:11	基本的に漏えい検知システムや目皿からの排水等により防護する設備の安全機能が小山内歩程度の溢水に抑える設定とすることから、溢水事象が、
0:10:21	なることはありません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:24	3 ポツ、
0:10:25	水防護区画及び水路の設定です。
0:10:29	20 ページの中段の 3 ポツ 1 から、溢水防護区画内漏えいでの溢水経路について説明します。
0:10:36	宇井水防護区画内で、
0:10:38	溢水が事象が、
0:10:41	発生した場合には、溢水防護区画内の水水位が高くなるように保守的にそれぞれ溢水経路を設定しております。
0:10:50	21 ページをお願いします。
0:10:53	3 ポツに、水防護区画外漏えいでの溢水経路についてです。
0:10:57	水防護区画外で、
0:11:00	水が生じた場合には、溢水防護確認、溢水が流入して、
0:11:04	石津岡区の水位が高くなるように、逆に、なるべく入ってくるように、
0:11:09	それぞれ推計を設定しております。
0:11:14	続いて、
0:11:18	資料ナンバーの、
0:11:21	資料ナンバー4 工事計画に係る補足説明資料をお願いします。
0:11:32	説明書のえと補足について補足説明書で説明いたします。
0:11:36	通し番号の 2 ページをお願いします。
0:11:40	赤字で囲っているものが今回提出しております資料になります。
0:11:45	通し番号の 4 ページをお願いします。
0:11:49	4 ページ別紙(2)に説明書と補足説明資料の関係を示しております。
0:11:56	通し番号 7 ページをお願いします。
0:12:00	2 ポツ溢水伝播経路概念図ですと設定した溢水経路からは、8 ページ以降に概念図としての経路を示しております。
0:12:11	続きまして、17 ページをお願いします。
0:12:16	17 ページにポツに溢水伝播経路モデル図になります。
0:12:22	溢水の発生を想定する建物エリアにつきまして、想定する溢水が最地下化前。
0:12:28	流下することを示した資料になります。
0:12:36	これが 30 ページまであります。
0:12:38	続いて 31 ページをお願いします。
0:12:45	被水影響評価についてです。
0:12:51	32 ページに評価のフローを示しております。
0:12:56	被水影響フローとしましては防護すべき設備を分母に、まず一つのダイヤで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:02	モリ水源がないことです。大淵城戸を考慮した範囲に破損想定水源がなく天井部の、
0:13:09	開口等の貫通部がないこと崖錐がない場合はもう溢水対策はなしになります。二つ目、水源がある場合には、
0:13:17	多重化または多様化されており、
0:13:19	別々に設置されることに同時に機能が喪失しない。
0:13:22	ナンバー3 防護すべき設備が防滴仕様を有している場合に、
0:13:25	被水対策ができていないものとして、規制対策なしというフローになります。
0:13:31	法的仕様といいますのは、33 ページに示しておりますが、
0:13:39	JISの 09202003 電気機械器具の外郭による保護等中の
0:13:45	4 以上第 2 等級 4 以上を防滴仕様としております。
0:13:51	34 ページをお願いします。
0:13:56	34 ページに想定破損による溢水評価についてです。
0:14:01	35 ページから、想定破損
0:14:03	によって生じる溢水として、各系統と、各建物エリアの敷設状況、水源の有無を整理しております。
0:14:15	39 ページをお願いします。
0:14:22	エネルギー配管と丁寧に芳賀の分類のうち、高エネルギー配管であっても、カーネギー配管として運転室時間の割合がプラント運転期間の 1%で小さい場合NG配管として、
0:14:34	しております。そのプラント運転時間の調査結果と、実際の運転時間の割合を示したものを、表 5 ポツ 2-1、ネギ配管の運転時間割合算出以下に示しております。
0:14:49	通しページ番号 4、10 ページをお願いします。
0:14:54	エネルギー配管の応力評価結果です。
0:14:59	42 ページから説明書で示した各系統とモデルについて鳥瞰図とともに、
0:15:05	評価結果を記載しております。
0:15:09	こちらが 76 ページまでは示しております。
0:15:13	77 ページをお願いします。
0:15:15	想定破損における、
0:15:17	減肉のコールです。
0:15:18	応力評価を実施して、破損想定不要とするとエネルギー配管について肉厚測定を実施することにより、
0:15:26	減肉状況を検討しております。
0:15:29	2 ポツ表 5 ポツ 4-1 に対象系統を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:34	78 ページ、表 5 ポツ 4-2 と代表系統と支線選定した系統の肉厚結果を示しております。
0:15:48	明らかな減肉が確認されていないことを確認しています。
0:15:52	6 ペー、80 ページお願いします。
0:15:56	80 ページからは、消火水の放水による溢水評価の概要になります。
0:16:02	82 ページをお願いします。
0:16:08	溢水量としまして等価時間を用いておりますが、藤加来。
0:16:13	逆に、
0:16:14	置いて、消火水の放水を行う核もしくは行わない核を整理しております。また、
0:16:21	両の右から 2 列目に等価火災時間を記載しておりますして溢水量を一番右図に書いております。
0:16:28	EPからの違いとしましては、EPの時は、等価火災時間を、生値を使っておりますので今回は、
0:16:36	保守的な値として、基本的にすべて 3 時間、
0:16:40	を使用して、86 ページの
0:16:43	キーにF-29N87 ページのRW2F-31Nのみ、等価火災時間 0.5 適用しております。
0:16:53	90 ページをお願いします。地震起因による溢水評価です。
0:16:59	91 ページカイスイジンとする次期志賀行き。
0:17:02	機器と配管ごとに整理しております。
0:17:11	それで、118 ページをお願いします。
0:17:15	燃料プール等のスロッシングに水量の算出です。
0:17:19	あと説明書にはサマリーを記載しており、具体的に、入力地震動ですとか、あとプールの床応答スペクトル等を詳細に記載をしております。
0:17:40	続きまして、
0:17:43	164 ページをお願いします。
0:17:47	相磯に対する流下開口についてです。
0:17:51	116 ページから、
0:17:53	機器は、ハッチ等の開口からの排水に対する
0:17:57	漠と期待する開口幅を記載しております。
0:18:02	表中と 8-2 に機器ハッチを、
0:18:05	記載しており、
0:18:07	170 ページ、9 ポツ 8-4、階段開口部、
0:18:13	沖田依田してるものを記載をしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:17	説明書に関する補足説明資料は以上になります。引き続き計算値プログラムに関してご説明をします。
0:18:27	中国電力のイタイガワです。計算プログラムの補足説明資料について説明させていただきます。
0:18:34	あと最初に適正カー箇所について説明いたします。No.5 の資料をご覧ください。
0:18:43	まずナンバー1 ですが、No.8 の補足説明資料、
0:18:50	計算コード概要の補足説明資料、
0:18:53	なんですけども、2 ページ目の表 1 のタイトルが抜けていましたので、
0:18:58	追加しております。
0:19:00	からナンバー2 の、
0:19:03	ナンバー2 についてなんですけども、
0:19:09	愛せコードリストの方に、フロー区分の結果、
0:19:15	が書けるように項目を追加してございます。
0:19:19	以上適正化箇所です。
0:19:21	それでは、
0:19:22	資料番号No. 8 をご覧ください。
0:19:30	等通しページの 1 ページに、
0:19:33	補足し、補足説明資料の改正コードリストの
0:19:37	分類の構成を示してございます。
0:19:42	藤。
0:19:44	図書のシュベII
0:19:46	及び、実績の有無等によって、以下六つの分類リストの分類にしております。
0:19:55	通しページの 2 ページ目をご覧ください。
0:20:00	図 1 の区分フローに示す通り、
0:20:04	使用している解析コードは、
0:20:07	使用実績はバージョンの差分により、区分AからEに分類します。
0:20:13	同当該分類に従いまして、その下の表 1 に示しており、
0:20:20	補足説明資料に添付する解析コード概要の内容を、
0:20:26	決定することになっております。
0:20:28	今回準備しました、水の説明書に関する解析コード、
0:20:33	2FLUENTとはいSAP。
0:20:36	のコードがございませうか。
0:20:38	どちらも使用実績がありまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:42	うーん。
0:20:43	プレゼントの方についてはバージョンの差分もないため区分B、
0:20:47	という整理にしております。
0:20:50	もう一方はSAPの方については差分もないため区分Aとなります。
0:20:56	どちらも区分A、B、
0:21:00	のため、添付書類としては、
0:21:04	解析コードの表のみを、
0:21:07	添付書類としてつけてございます。
0:21:12	続いて通しページの3ページ目をご覧ください。
0:21:18	解析コードリストになります。
0:21:23	先ほど申し上げましたけども今回Fluentとは伊佐ということで、
0:21:28	バージョンを含めてバージョンの差を含めて4種類ございます。
0:21:33	最初ナンバー5と6と7プラントでございますけども、
0:21:38	使用したバージョン
0:21:40	が18.1.0と、18.
0:21:45	2.0等バージョン2020のレビジョンワン。
0:21:50	三種類でございます。
0:21:53	使用目的つきについては、いずれも流体解析。
0:21:57	で使用しております。
0:22:00	対象設備に従って使用しているバージョンが異なっております。
0:22:06	使用実績ちょっとマスキングで書かれてございますが、
0:22:11	バージョンが先行プラント等、
0:22:15	違うということで、
0:22:17	リストの一番右から2番目の方に、
0:22:21	フロー区分Bということで、差分がある。
0:22:24	コードということで整理してございます。
0:22:31	ナンバー、
0:22:34	ナンバー27のはいSAPですけれども、
0:22:38	違う城田バージョンがバージョン52。
0:22:42	使用目的は3次元物件要素。
0:22:47	よる間のこういう解析。
0:22:50	なっております。
0:22:52	こちらは先行機と、
0:22:54	バージョンが一緒ですので、
0:22:57	フロー区分としては

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:00	となっております。
0:23:02	続いて通しページ 4 ページですけども、先ほどフロー区分Bで整理しましたFluentのコードについて、
0:23:11	熟した形で、こちらの差分リストに挙げております。
0:23:18	当該リストの右から 2 番目に、
0:23:22	バージョン差分内容を整理してございます。
0:23:27	いずれもバージョンの差分は計算機能の追加や、
0:23:32	計算速度の向上に伴うものであり、
0:23:35	今回の清伴における解析結果に影響分さないということで整理してございます。
0:23:44	解析行動、
0:23:46	に関する説明は以上でございます。
0:24:00	電力からの説明は以上でございます。
0:24:06	規制庁イワサキですはい。
0:24:08	ありがとうございました。それじゃあ、何かご質問のある方は。
0:24:14	いらっしゃいます。
0:24:33	岩崎です。さっき李危機煉瓦は何かございますか。
0:24:43	縁側特に、
0:24:45	私は変わりません。
0:24:51	服部さん何かございますか。
0:24:59	特にありません。
0:25:10	植木さん何かございますか。
0:25:16	あ、すいません、規制庁ウエキです聞こえますでしょうか。はい。聞こえております。
0:25:27	資料の 3 番。
0:25:30	お願いします。
0:25:33	シャバーンは説明されたんですけど。
0:25:37	もう。
0:25:39	3 番は多分まだやってない。岩崎です。3 番はまだ説明してないんじゃないかな。たし、カレッジの皆さん、すいません。失礼しました。それでは 4 番、
0:25:54	もう、補足説明資料を、
0:25:58	ちょっとその指針関係で幾つか確認したいんですけど。
0:26:04	燃料プールのスロッシングで、通しの 118 ページ、お願いします。
0:26:14	ここです。ね括弧 2 の(1)の中で一番下のパラグラフ、
0:26:24	です。ね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:33	上から4行目あたりで使っちゃって
0:26:38	特定の方向性を持たない応答スペクトル手法に基づき策定された地震動である。
0:26:46	根井。NSまたはEWと鉛直を組み合わせた解析を行うという。後ろの方を見ると、水平方向と鉛直の同時でやって、
0:26:59	それぞれNSEWやってその絶対は、水量も絶対バーを足し合わせ、
0:27:07	いるので、そのことを言ってると思うんですけど、その前段のですね、方向性を持たない応答スロットル手法にも、
0:27:16	基づき、
0:27:18	策定された地震動であるためっていうところが、
0:27:22	ちょっとよく理解できなかったんですけど。
0:27:27	説明お願いします。
0:27:37	はい。中国電力の石垣です。Ss-Dに関しましては、スペクトルの作成の仕方として応答スペクトルに基づく手法に基づいているため、
0:27:48	断層断層の距離
0:27:52	ベクトルの場合だと、断層の向きによってN-Sとか飯田部とかいう方向性を踏まえた上で地震動を作成しているというのに関しまして、一方、
0:28:00	オートスペクトルに基づく地震動というのは、まず最初の方向性というのがこのシンドウ地震に対してないと、それに対してそれぞれ、
0:28:10	既地震動を作って基準地震の解放基盤に基準シンドウを入れて建屋の解析をして、結局として、N-Sとか飯田部が出てくるんですけども、地震動そのものとしてはN-Sリーダ部という方向性がないと。
0:28:23	いうことを、意味して記載しております。そのため、
0:28:27	その方向の基づきNSとEWをそれぞれ入れると、方向性のないものNSと飯田部に出ることになりますので、
0:28:39	今回のようにNSとUDで解析をして、またEWDで解析してそれらのをするという方法をとっております。
0:28:48	以上です。
0:28:51	規制庁駅です。
0:28:53	何となくわかるんですけど、これってあれなんですかね3方向同時。
0:29:01	の解析はやらない理由。
0:29:05	ということで書いてるんですか。ちょっとその方向性を持たないので、
0:29:14	NSとEWと鉛直それぞれやって足し合わせる。
0:29:19	というのが、
0:29:25	ちょっとよく結びつかないんですけど、要は3方向同時

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:30	でやる、水平 2 方向同時ってということなんですか。それは方向性を持たないんで、
0:29:40	仮にそれをやるとすると、ほぼ 45° 方向にルート 2 倍の水平方向の地震動が入ることに、
0:29:49	なるので、それで 3 方向同時は、
0:29:53	やらずに、そういうことを言いたいんでしょうか。
0:29:58	はい。中国電力がイシガキです。はい。ご認識の通りでして、それぞれもともとの解放基盤にいるときの地震動が方向性を持たないというものですので、
0:30:10	それをNSと飯田部に一緒に入れてしまう。
0:30:14	と、植木さんのご認識が 45 度ここに行くこと。
0:30:19	いうことで、まずこの方向性を持たないっていうのはこの 3 方向同時入力というのをしないという理由の一つとして、
0:30:27	理由として記載しておりますと。
0:30:30	それをもってこの理由によって今回はNSとUDだとUDというのを、結果をそれぞれ足し合わせるという、方針という形で記載しております。以上です。
0:30:46	規制庁池です。わかりました。ちょっとそこところが、多分話が少し飛んでいるのかなと思うので、
0:30:55	3 方向同時Gにはやらないという、
0:31:00	ことを何かきつとこと書かないと、ちょっと結びつかないのと、多分これって、かなり
0:31:09	各方向のやつを絶対はしてるので、仮に位相が異なる地震動で 3、3 軸同時で、
0:31:17	やったとしてもそれに比べて、
0:31:20	かなり大きくなっているであろうということは想像できるんですけど、ちょっとそこ、その話のですね、
0:31:31	何も書いてない、ほせ。
0:31:34	それで保守的、これが保守的なんですっていうこともわからない。
0:31:39	ので、まずは確認したかったのは保守的なんでしょうか。
0:31:45	はい。中国電力のイシガキですはい。江藤。今回のやり方の方が保守的だというふうな認識で設定条件を設定しております。以上です。
0:31:59	それであればそういうふうには書かないと、
0:32:03	何か今の本審査と何が言いたいのかちょっとよくわかんないところがある。
0:32:09	記載検討。
0:32:10	していただきたいんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:13	はい。中国電力石垣です。はい。まず先ほどのご指摘いただきましたように、まず方向性持たないというところと、そのあとのですね、
0:32:26	NSと飯田部というか、形でそれぞれの足し合わせるというところの保守性含めてですね、記載の方を検討したいと思います。
0:32:35	以上です。
0:32:39	規制庁植木です。よろしくお願ひします。ちなみに、このやり方っていうか考え方っていうのは、先行、
0:32:47	でも、
0:32:49	似たようなやり方でやってるっていう。
0:32:53	理解でよろしい。
0:32:54	ですよね。中国電力田村です。このやり方の設置許可のときに、
0:33:02	結構議論させていただいて、3方向当初入力しておりましたけど45°方向に揺れる波で、
0:33:11	ご指摘だと思っておりましたけどもそれ必ずしもそうではないということで、このようなやり方が妥当であろうということで施設介護とかでもご説明させていただいております。
0:33:26	健康、
0:33:27	期では、女川さんも設置許可段階では、このようなやり方をしたと。衛藤。
0:33:35	しておりました。以上です。
0:33:39	規制庁池です。わかりました。ちょっと設置許可のときに議論を出演していただいたので、そういう経緯があるのであれば、
0:33:49	当間さっき言ったようなことも含めて、記載できると思うので、
0:33:57	記載の検討よろしくお願ひします。了解しました。
0:34:04	規制庁の植木です。それとですねここ、118ページのところに、ハウスナーでこういう周期を出して、
0:34:14	いうのがあるんですけど、
0:34:16	それで121ページに、応答スペクトルと、周期の関係っていうのが出てきてるんですけど、
0:34:25	これの記載の問題だけなんですけど、
0:34:30	121ページ、応答スペクトルの図にある、
0:34:35	NSEW4.3秒っていうのは、
0:34:40	118ページのところには、特に、
0:34:45	入ってないと思うんですけど、
0:34:48	そういう理解でよろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:54	はい。中国電力石垣です。118 ページ目には、はい。ご指摘の通り 4 秒から 5 秒においてという形で、4.3 秒というのが記載されていませので、この部分
0:35:12	あ、失礼しました。えーとですね一番上ですね 4、(1)の一行目にですね、
0:35:19	N-S及びUBPとも約 4.3 秒であることというふうに記載しております。失礼しました。以上です。
0:35:30	規制庁池です。失礼しました。ここに書いてあるわけ。
0:35:34	はい、わかりました。
0:35:36	それで、このハウスの式に入れた数字。
0:35:42	寸法とあと推進ですか、それ。
0:35:46	それは、
0:35:50	119 ページのプール寸法とか、
0:35:55	見れば、それを使ってるってということなんですか。
0:36:03	はい。中国電力、石垣です。はい。江藤LとHの部分で、いえるが
0:36:13	はい。藤シンドウ方向の長さの 2 分の 1 ということでシンドウ方向ということでプールの全長がありますのでその 2 分の 1 から出されます。
0:36:23	またHに関しましては水面のキムラ高さということで、出せますので殊、119 ページの方からが算出できます。以上です。
0:36:39	筒井、深さっていうのは初期水っていうことでえーが出ているはいるんですけど、
0:36:49	特に今後、
0:36:51	深さという数字、そういう数字にはなっていない。
0:36:56	と思うんですけど。要は 118 ページの、
0:37:01	Lとか 1、2 を入れる数字っていうのが、直接、
0:37:07	Hに関しては出てないように思うんですけど、馬場でしょう。
0:37:17	中国電力、石垣です。資料の③、失礼しました。3、
0:37:25	すいません、④の方のですね、128 ページ目の方をご覧ください。
0:37:40	はい。補説の方にですね今回燃料プールのスロッシング等も含めてですね、詳細な内容が記載しております。
0:37:50	この中でですね表 7-3 の 14 名、7、7 ポツ 3-4 のところにですね、
0:37:57	地震前の燃料のプールの水位ということで、ELの他に、水位の方も 11.67 という形で記載しております。
0:38:08	はい。江藤。以上です。
0:38:11	規制庁伊井ですちょっとやっぱり不親切だと思うので、(1)のところにですね、
0:38:19	三つの数字を書けば済むだけの話なので、この時期に入れる数字を記載していただきたいんですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:28	119 ページの方にプールの寸法とかありますけどこれはある意味じゃ、
0:38:35	FLUENTの解析のときに使うすぐ通行なので、いろいろな、さっき今度深沢ちよつとまた後ろ見てくださってという話もあったんですけど、ちょっとやっぱり、
0:38:47	わかりやすさの観点からいうと、ここに、
0:38:50	す。ちゃんと寸法かNSEWと深さを変えて、かつ獲られた周期も役という形ではなくてすすせっかく式を示していただいているので、
0:39:03	すN-S何秒ダブル何秒っていうふうになんと書いた上で、
0:39:10	約 4.3 でまとめ、丸目溜羽ならそれで構わないんですけど、ちょっとそういうふうにしていただきたいんですけど。
0:39:19	はい。中国電力の石垣です。はい、承知いたしました。記載のほうを充実させていきます。はい。以上です。
0:39:31	規制庁植木です。はい。よろしく願います。それと、121 ページ。
0:39:37	もう応答スペクトルですね、スペクトルの絵がちょっと、ちょっと私手元に持っているやつだと。
0:39:44	漢字の線がちょっと薄くてですねよく見えないので、
0:39:49	ちょっとよく見えるようにしていただきたいんですけど。
0:39:56	はい。中国電力石垣です。線というのは、衛藤スペクトル自身カラーの部分だと思いますその部分がちょっと薄の千賀細井。
0:40:06	いうふうに思いますのでこの部分、太くして見えるようにしたいと思います。以上です。
0:40:13	すいません。よろしく願います。
0:40:18	あと、
0:40:21	規制庁ウエキですけど 123 ページに解析のモデル図があるんですけど、この中で、上の図ですね、埋設ダクトっていうのが、
0:40:35	で、後の結果を見るとその埋設ダクト流入量っていう、
0:40:42	水の量が出てくるので、
0:40:46	考慮してるってことがわかるんですけど。
0:40:49	これって何かモデルのところとか、解析の
0:40:54	やり方のところで、何か説明はされてるんでしょうか埋設ダクトに関して、
0:41:06	はい。中国電力志垣です。
0:41:09	はい。モデルのところに関して施策とのことを記載しておりません。そこからの流出量とかが最終的な計算の方に、
0:41:18	頭にも記載されていますので、その部分についてモデルのところ、追記したいと思います。以上です。
0:41:31	規制庁植木ですはい。よろしく願います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:41:43	えっとちょっと飛んで、149 ページ。
0:41:52	和田に貯水槽の解析なんですけど、
0:41:56	これで、
0:42:00	下の絵では
0:42:02	座標として短辺方向長辺方向っていうのがあって、これ、
0:42:07	斜めになればここに設置されてるのでNSEWっていうのは書いてないと思うんですけど、
0:42:15	この解析のときに、
0:42:18	地震動っていうのはどういうふうに入ってるのかちょっと説明お願いします。
0:42:34	中部電力田村です。Ss-Dですので、
0:42:42	それぞれを、
0:42:44	上げてきたものを、
0:42:46	NSとEWIに入れてる、入れております。
0:42:51	以上です。
0:42:56	規制庁江田です。土木側の解析。
0:43:00	出野法子。
0:43:03	ていうのはどうなってるんですか。
0:43:05	このモデルの単点と、長編。
0:43:10	ここに
0:43:13	日本波を入れ、
0:43:15	て、
0:43:16	というような、今の説明だとそうなんですけど、土木側の解析の方向との関係っていうのをちょっと教えていただきたいんですけど。
0:43:40	中国電力田村です。150 ページの入力地震動のところの、
0:43:48	第 2 パラグラフですけども、通信解析に用いる地震動は貯水槽の事象動解析により、
0:43:56	による応答加速度を用いるで解析を用いた加速度時刻歴は形を、図 7 を 3-2-3 に示すと。
0:44:05	ということで、
0:44:06	キャンペーンと長辺とそれぞれ、
0:44:13	和田貯水槽の応答解析からえられた地震動を用いております。以上です。
0:44:23	規制庁の池です。そうすると、遠地SPA
0:44:30	はい。規制庁池ですそうすると和田の貯水槽の解析のときに、短編を長編方法。
0:44:39	を考慮してその方向に解析していて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:44	地震動がちょっとどうなってるのかちょっとわかんないんですけどその結果出てきた短編を長編方法の
0:44:54	地震動をそのまま入れてるっていうことでよろしいです。
0:45:01	はい中国電力田村です。はい、ご理解いただいた通りです。以上です。
0:45:07	規制庁大井ですはい、わかりました。
0:45:11	それから、153 ページ。
0:45:20	ごめんなさい。すいません。145 ページです。ちょっと戻って申し訳ないんですけど、
0:45:27	これで水量の時刻歴の図はあるんですが、これで、
0:45:36	溢水量を見ると、
0:45:42	解析係数 01 のNS+UD方向。
0:45:47	上の数字でいうと 10 桐生で出てますので、
0:45:52	EW+UDってのは 6 分、
0:45:57	9 で出てますということで、N-S方法の方が、
0:46:03	おい水量が大きいんですけど、それで、
0:46:07	へえ。
0:46:08	藤。
0:46:10	他のですねプールの結果を見ると、大体
0:46:15	暗転方法の方が溢水量があまり大きくなっていて長辺方向は溢水量が小さいんですけど、
0:46:23	プールだけは何か逆に。
0:46:27	んなって
0:46:31	NS方向が 146 ページ、図でいうと、NS方向が、
0:46:38	長編を
0:46:40	なんですけど、帳面方向の方が水路が大きい。
0:46:45	多くなっているんですけど、
0:46:49	これだけちょっと傾向が違う理由を説明お願いします。
0:47:14	規制庁池です。例えばですね 153 ページ、これは台帳水槽なんですけど、
0:47:21	短辺と長辺でかなり溢水量が違って、短辺方向、
0:47:27	はかなり水量が大きい。
0:47:31	それと比べると、
0:47:34	ちょっと台帳推進法が、
0:47:37	その関係逆転してルーなので、ちょっとその理由を、
0:47:43	なんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:46	中国電力田村です。短辺長辺というよりは、その周期だと考えております。和田に貯水槽の短辺長辺のこういう周期等、
0:47:58	サイドバンカーのところの短辺萎縮がちょっと全然違っておりますので、
0:48:05	はい、短辺長辺というのは
0:48:08	周期とスペクトルの関係だと理解しております以上です。
0:48:17	規制庁植木です。次回でも構わないので、ちょっとその
0:48:25	周期との関係、
0:48:27	いうのを説明していただきたいんですけど、それで、
0:48:32	このワタミchance一層の
0:48:38	それぞれの方向の手術、
0:48:41	ていうのは、
0:48:45	出てるんでしょう。
0:48:58	はい。中国電力石垣です。50 ページ目の上から 2 行目の方、
0:49:04	2、短編報告は 6.1 秒。
0:49:07	長編方向がジュース 4.3 秒ということで記載しております。以上です。
0:49:21	規制庁大江です。20、20 ページ。
0:49:27	通しページです。
0:49:30	中国で 9 インガキで失礼しました 150 ページ目。
0:49:34	の上から 2 行目を、
0:49:37	に記載しております。以上です。
0:49:42	わかりました。
0:49:47	そうするとあれですね
0:49:51	短編が 6.1 秒で長辺が 14.3 ってかなり長いので、
0:49:58	すべっとルーのを、
0:50:01	大きさっていうか、かなり長周期なんで、
0:50:04	小さい。
0:50:07	という、
0:50:08	ことで
0:50:09	そういうことですね。
0:50:12	中国電力田村です。はい。その通りで、
0:50:16	ご理解いただいた藤梨衣。
0:50:19	です。はい。以上です。
0:50:24	規制庁伊井です。はい。
0:50:27	よくわかりました。
0:50:31	とする。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:34	思います。
0:50:42	ちょっと前の方に戻って溢水量とか水の水の、
0:50:49	について、
0:50:50	確認したいんですけど、127 ページ。
0:50:56	ですね
0:50:58	燃料プール溢水影響評価による溢水量。
0:51:03	というのがあるんですけど、
0:51:07	うふう。
0:51:13	それで 127 ページでですね表 7.3-3 に、
0:51:19	注記の 2 でですね、床面のSLをBCクラスの溢水量、これBCクラスに清涼
0:51:29	をたんす。
0:51:30	コールしたいスイスイは 0.19 メートル。
0:51:36	ていうふうにあって、
0:51:38	これっていうのは、
0:51:46	136 ペイジー。
0:51:51	ですか。
0:51:56	136 ページに、は、
0:51:59	定検時の溢水量評価っていうところで、
0:52:04	表 7.39 にですね、
0:52:08	通常時と定検時のやつが併記されていて、ここ 2、
0:52:15	水量がそれぞれ出ている、滞留面積、
0:52:19	割って、0.19 メートルっていうのが出ているんですけど、これこれのことを言っ てるってことでよろしいんですね 117 ページ。
0:52:33	やつって、
0:52:34	中機能、
0:52:36	近いっていう。
0:52:40	いいです。
0:52:41	中国電力仲西です。
0:52:43	127 ページの 104 立米は、
0:52:47	136 ページの 136 ページ先ほどおっしゃった通り、このBCクラスの水量になり ます。ご理解の通りです。以上です。
0:52:57	規制庁脇です。わかりましたそれで、ちょっと不親切ですね、
0:53:04	最初に数字が 0.19 メートルってのがあってそれをどうやって出したのかなって いうのが、
0:53:11	例えば滞留面積とか何も書いてないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:15	出てくるんで、後ろの方を読んでいくと、ここにちゃんと出ているのでわかったんですけど、
0:53:22	ちょっと資料としてわかりづらいので、例えば 127 ページのところですね、
0:53:28	後ろの表を呼び込むとか 0.19 メートルに対してなんですけど、
0:53:36	ちょっとそういう記載をお願いしたいんですけど。
0:53:41	強いんでしょ。
0:53:46	中国電力仲西です了解しましたわかりやすいように資料にします。以上です。
0:53:54	規制庁池です。はい。よろしく申し上げます。それで 136 ページにちょっと行ってですね、ここで、
0:54:01	先ほど表 7.3-9 で、
0:54:05	注記です、建築施工公差、0.025 メートルを考慮した値、
0:54:12	というのがちょっとよくわからなくて、
0:54:14	上の表で溢水量だのたい。
0:54:18	瓜生面積で割ると、例えば通常時は、
0:54:22	0.16。
0:54:25	メートルぐらいになるんですけど、多分それに何かこの公差を考慮した値っていうのが考慮されると。
0:54:33	0.19 メートルに、
0:54:35	なると思うんですけど、具体的にどういう、
0:54:39	ふうに考慮してるのかっていう、ちょっと教えていただきたいんですけど。
0:54:45	中部電力、仲西です。スイスイの算出についてですが、
0:54:52	床面の高さを図面からエレベーションで読み取ったりしていますが、建築時に、
0:54:59	図面通り、基本をつくれてるんですが公差が当然ありますので、その公差分 0.025 分を移設に足し込んで保守的に数値を算出していると、図面か読んだ時に、交差も考慮して、
0:55:12	賛成していると、そういうことになります。以上です。
0:55:18	規制庁池ですちょっと今説明を聞いて何となくわかったんですけど、少し
0:55:25	注記のところをわかるように書いてもらえないでしょうか。
0:55:35	中国電力中西注記でわかるように式等で示せばいたします。以上です。
0:55:42	規制庁植木ですはい、お願いします。
0:55:50	規制庁大江です。私からは以上です。
0:56:00	市長イワサキですはい、わかりました。藤。
0:56:03	他に何かございますか。
0:56:11	聞いてもわかんないんすよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:13	よろしいでしょうか。
0:56:18	どうぞ。
0:56:23	④番の資料、今の資料ですけどその 42 ページにアイソメがあるんですが、
0:56:32	ちょっと見方を教えて欲しい。水の方初めて出るんで、ちょっと見方を教えて欲しいんですけど、この
0:56:40	赤く塗った範囲、
0:56:43	検討すべき範囲で、
0:56:48	その結果上の表にあるように、共同して対応SAのタケウチを満足してきましたって意味なんです。意味なのか。
0:56:58	この全体で 90 満足してる範囲はこういう範囲ですよと言ってるのか。
0:57:04	ちょっとどういう意味の、
0:57:06	赤い線の枠を教えていただきたいんですが、
0:57:12	中国電力中西です。先ほどおっしゃってた全社で、この赤の範囲が、図の中で示しているのが、応力評価の対象範囲、
0:57:24	となりまして、この中から、この範囲を評価をしておりますしてその結果を表 5 ポツ 3、示しているというものです。以上です。
0:57:33	規制庁青井です。よくわかりました。どうもありがとうございます。
0:57:38	とそれから 2、
0:57:42	3 の資料。
0:57:45	としてろさん。
0:57:48	津野さん。はい。2 番の資料。
0:57:54	一生評価条件の設定の方ですね。
0:57:58	7 ページ。
0:58:24	7 ページの真ん中ら辺のですねここで、
0:58:30	算出するって不どんどん、
0:58:34	短絡のですね。
0:58:36	その 2 行目で原則として系統全体の最大値、
0:58:42	最大予備家最大 2 個、祭壇の西郷氏は強く使用するんだって書いてあるんですけども、
0:58:49	ちょっとよくわからないのは最大予備系。
0:58:52	品。
0:58:53	多ければ
0:58:55	SEが増えるっていう話だと思うんですけど、最大実小松。
0:59:02	を選ぶっていう意味がちょっとよくわからないんですけど、ちょっと教えていただけますか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:10	中国電力仲西です。ここの 7 ページでご説明しているのは想定破損の溢水評価になりますところの想定破損の(2)の、
0:59:21	9 の施設と 9 以降 AC ルート 2 次 A チハラ 3600 とあります。この A の面積の求めたが、方がですね、
0:59:31	四分の Dt で配管の内径と肉厚をそれぞれ、あと 2 分の 1、4 分の Dt 何分の 1 D と 2 分の 1 にしておりますので、
0:59:42	内径と肉厚が大きい方がこの面積が大きくなりますので、ここでは、大きい方を取った方がいつ、面積大きくなって旧の流量の量が大きくなりますで保守的になりますということを説明したものです。以上です。
0:59:58	ガイド通りの記載に、
1:00:02	室次長の方の図、了解しましたすみません、私はあまり知らないんで、
1:00:07	どうもありがとうございました。私の方からは以上です。
1:00:15	はい。岩崎です。はい、ありがとうございました。
1:00:19	これはほか、何かございますか。
1:00:28	規制庁植木です。すみませんちょっと 1 点忘れたんですけど、ちょっと記載だけなんですけど
1:00:38	資料の 4 番のですね、
1:00:41	説明資料の 146 ページ。
1:00:44	なんですけど、これ、液面状態の絵で、
1:00:52	最大水位、
1:00:54	ていうのが示されていて、四角と矢印。
1:00:59	これが、注記を見ると、キャスクピット定年からの水位っていうふうになってて、
1:01:09	宇佐見谷津を見ると、もう多分書記。
1:01:17	初期水からの変動分が書いてある。
1:01:22	思うんですけど、ちょっと
1:01:27	いつだけ、定年からの高さ、
1:01:32	で記載してる理由は何かある。
1:01:42	はい。中国電力石垣です。はい。特に解析をやった時の
1:01:49	違いで、このような記載になってしまっていますので、他と合わせてですね、初期追加の高さという形に修正したいと思います。以上です。
1:02:00	規制庁大池です。はい。よろしく願います。そちらの方が、実際の変化量がわかるので、
1:02:07	わかりやすいと思うので、
1:02:09	よろしく願います。以上です。
1:02:19	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:20	ありがとうございました。他は何かございますか。
1:02:26	じゃあ、三浦さん。
1:02:33	はい。規制庁の三浦です。聞こえますか。
1:02:45	よろしいですか。
1:02:47	資料4の120ページ。
1:02:51	なのですが、ここで上のほうに平面図、
1:02:56	あと下の方に17、3-2で、概要、
1:03:01	燃料プール概要といえ記載があるんですけど、
1:03:04	これちょっと見る角度が違っているので、上の平面とですね。
1:03:09	あと、右側のアイソメ的なものですね、下のですね、
1:03:13	これはどちらの視点から見る見ているというのを、どっか上の平面図の中に書く方がいいと思うんですがいかがですか。
1:03:23	中国電力田村です。はい。
1:03:26	上の平面図に各課下の図に座標軸が書いてないのでそれを追記するかって整合がわかるようにしたいと思います以上です。はい。お願いします座標軸下のデザイン塾入れるのがいいかもしれませんね。
1:03:39	そういった方向で修正をお願いします。
1:03:42	阿藤123ページ。
1:03:47	これで、解析モデル図と解析メッシュ図が示されてるんですけど、
1:03:54	これ平面寸法とか、高さレベル、
1:03:58	これを入れていただくことはできますでしょうか。例えば、
1:04:02	プール上端とな、ELxで液面高さがELxでっていうような形で、底面が幾つですか。
1:04:10	高さ関係と平面、これ。
1:04:13	層厚関係を示していただきたいんですがいかがでしょうか。
1:04:20	中国電力田村です。
1:04:25	119ページに表7-3-1がございます。こちらにプールの先頭が書いておまして、ここにちょっと推移が書いてなかったのこの水は書くようにというご指摘を先ほどいただいておりますのでそこら辺で諸元を明らかにしたいと思います、
1:04:42	それとは別にこの、
1:04:45	メッシュ図にもそのなんか高さ関係を書いた方が、
1:04:49	良いというご指摘でしょうか。はい。解析モデル図なので、相当関係をきちっと入れといた方がいいと思いますんで、少し材情報を加えていただくことはできないでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:05:03	中部電力田村です。了解いたしましたこちらにも
1:05:07	寸法を追加します。以上です。はい。それで今の 123 ページで、これ、
1:05:13	凍土壁ジョウタンっていうのは、
1:05:16	液面高さ初期水位のEL42.56 かな。
1:05:21	これ 2、24 センチか何か足したもんですか。
1:05:37	中国電力石垣です。今数字の方が、
1:05:41	24 センチかどうかっていうの確認ができ、気になったのは、してないんできないんですけれども、プールの駅前 2 から上までのプールの壁面までの、
1:05:51	ところの部分、古内駅上端と書いて、青色の部分で示しております。以上です。はい。わかりました。ちょっとその辺のところの寸法関係もですね、
1:06:03	123 ページの下の図で、プール上端と壁面深さ、高さってのはどのように違いかと、ちょっと情報として知りたいので、そういうところもわかるように、
1:06:13	そこ、商工関係でいただけますでしょうか。
1:06:17	はい。中国電力石垣です。はい。モデルのところに液面高さとプール上端までの高さ等もですね、わかるような形で追記いたします。以上です。
1:06:27	はい。よろしくお願いします。リアクターの方へ、断面図見たら、そのプール上端がはいえる、42.8 ヶ月になってたので、今 24 センチってちょっと私言ったんですけど、
1:06:39	そのところも確認できると思います。思いますんで、よろしくお願いします。
1:06:45	はい。中国電気インガキです。承知いたしました。以上です。はい。あと 136 ページなんですけど、
1:06:53	これ、
1:06:55	表 7-3-9 で、先ほどちょっと植木の方から、
1:07:00	滞留面積は 1154 という数字、これで、水路割り込んでますが深さっていう
1:07:07	話があったんですが、
1:07:09	この滞留面積を求めるときのセキがどこにあるのかと、というようなものも、ちょっと図として加えた方がいいと思うんですがいかがでしょうか。
1:07:32	中国電力仲西です。平面図上、どの範囲を面積を求めてるかっていうのがわかりやすくての方が良いという指摘だと理解しますのでわかるように対応します。以上です。
1:07:44	はい。お願いします。まさに今言われた通り、どういう部分にセキがあってその面積が 1454 だと、あとでわかるようにですね、示した方がいいと思いますのでお願いします。
1:07:59	それとあと、140 ページ、
1:08:05	なんですけど、これもですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:08	断面図 2、ELレベル、
1:08:11	示していただきたいんですよ。
1:08:14	液面の、
1:08:17	上段がどこで、
1:08:19	スプール長官がどこでとか、これは平面平面寸法とが入ってて、解析モデルごとに先ほど何も入ってなかったけど、こっちは池田に入らなかったのもあるんですけど、
1:08:31	高さ関係を追記していただきたいんですがいかがですか。
1:08:36	はい。中国電力石垣です。140 ページ目のモデルに関しましてエレベーションですね、を追記いたします。以上です。
1:08:47	はい。はい。
1:08:48	本当ちょっと解析モデル間ですねちょっと整合とって、例えば、前の燃料プールのところは、
1:08:54	空間、
1:08:58	上部空間とか、そういう表記もあったんですが、
1:09:04	ちょっとその辺のところも、解析モデル他のモデルもありましたけども、整合とっていただきたいんですがいかがですか。
1:09:13	はい。中国電力 1 月です。はい。モデル化の整合をとって上部空間等の注記等を追記いたします。以上です。はい。すいませんお願いします。
1:09:24	あと 146 ページこれもちょっと先ほど植木の方からあったんですけど、
1:09:32	この図の 3、7-3-19 で、
1:09:36	これフードへき上端のレベルが、
1:09:40	これは 19.8 ですか。
1:09:55	中国電力インガキです少々お待ちください。
1:10:17	江藤中国電力石垣です。19.8 床応答スペクトルのハイレベルにして衛藤ほぼ近傍だとは思っているんですけどもそのレベルに関しては確認してお答えいたします。以上です。
1:10:31	ちょっと私が知りたいのはですね、これ、上端が幾つ、例えば、
1:10:36	クール比木の長さんがEL19.8 だとしますよね。
1:10:41	そうすると、キャスクピット低迷、EL6.9。
1:10:46	これとの差分つうのが 12.9 メーターになるんですよ。
1:10:50	そうすると、
1:10:52	12.9 メーターってことになると、上の方のNS方向は最大水位が約 13.3 なので、溢水が出るんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:01	下の方のEW方向に関しては、12.9 から 12.7 なので、溢水が出ないことになってしまうんですよ。ちょっとその辺の位置関係も、
1:11:11	なぜこういうふうになってるかってよくわかんなかったんですが、
1:11:14	プール上端の位置レベルを確認していただいて、もう一度数値を見直しいただきたいんですけど。
1:11:22	はい。中国電力石垣です。はい。理事、最大水位等が実際のプール上面に対して、
1:11:30	はい超えてるかどうかというものも含めまして、先ほどの内容を説明いたしたいと思います。以上です。はいすいません。おそらく、
1:11:42	わたし達状態がもうちょっと低い状態レベルをもうちょっと低くとってるのかもしれない。ちょっとその辺ところ説明をお願いします。
1:11:50	あと 150。
1:11:53	4 ページ。
1:11:56	なんです、
1:11:59	この最大水位っていうのはどっからの推移。
1:12:03	押見さん。
1:12:15	はい。中国電力松垣です。はい初期水位からの、はい最大水位だと思うのですけれどもその内容についての記載がないと思いますので、
1:12:27	その部分についてもちょっと追記したいと思います。以上です。はい。すいませんお願いします。最大水位、あと側壁の高さね、レベル関係、これ、先ほどから同じこと言ってんですが、
1:12:40	モデル図なので、そういう高さ関係とか、平面関係とかっていう数値が入っていた方が、モデルを理解しやすいと思いますので、そこもよろしくお願いたいたんですがいかがですか。
1:12:53	はい。中国電力石垣です。はい。先ほどいろいろコメントいただきましてすべてのモデルにに關しまして、
1:13:02	高さ、エレベーション等を追記します。
1:13:05	はい。以上です。はい。すいませんよろしくお願いたします。私から以上です。
1:13:19	規制庁の服部です私から 2 点ほど確認させてください。
1:13:23	まず資料ナンバー②、
1:13:30	19 ページお願いたします。
1:13:38	表の 2-18、地震以外の自然現象により水影響について、
1:13:43	9 番の土石流について確認します。
1:13:48	土石流によるタンク損傷の可能性があるが、
1:13:53	影響はないことを確認している。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:56	とあるんですけども、
1:13:57	まず
1:14:01	自然現象による損傷の防止に関する説明書とかで、
1:14:07	タンク等が土石流により損傷損傷の可能性があるってことは、
1:14:13	示されてるんでしょうか。ちょっと見当たらなかったんで、念のため確認したい と思いたすがいかがでしょうか。どうぞ。
1:14:42	と中国電力タムラです。
1:14:45	ちょっと、本日、この自然現象、地すべり土石流の、
1:14:52	関係者が、ヒアリングに出席してませんので、明確、個々のタンクを示している かどうかわかりませんが、
1:15:02	土石流の範囲は確かお示しておりますので、そこにある範囲にある。
1:15:10	屋外のタンクは影響する可能性があると考えております。以上です。
1:15:16	規制庁の八田ですはい私の方でもそこら辺は確認をしてみますという確認は しているんですけどはい、わかりました。それで、
1:15:24	表の記載なんですけれども、
1:15:28	ここ以外はすべて損傷はないとか、そういう表記になってるんですけども、
1:15:33	この請求だけが損傷の可能性があって、
1:15:37	ただし影響はないことを確認してらって書いてるんですけども、
1:15:43	この影響がないというのは、
1:15:46	土石流範囲にあるタンクについてわあ、溢水、
1:15:52	を評価した全量溢水することを考慮した上で評価しているんで、その評価に おいて問題ないってことを確認してるから問題ないと言ってるのか。
1:16:04	そこら辺の問題ないと言っている根拠というか、理由がここら辺では読めない んですけども。
1:16:10	その点についてここに、
1:16:13	概要を記載していただくことはできませんでしょうかどうぞ。
1:16:21	中国電力仲西です。先ほどおっしゃった通り、全量壊しても、範囲の影響ない ことを確認するので、やっていることがわかるようにここに記載を追記いたしま す。以上です。
1:16:33	規制庁のハツリですはいわかりました。ここ以外はすべて損傷はないので、 自明紀寿自明としてわかるんですけどもここだけがちょっと理由がですね、 知ってる人はわかるんですけども知らない人はわからないので、
1:16:46	ここら辺をもう少し丁寧に書いていただければと思います。
1:16:50	次に、
1:16:55	④の資料をお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:01	148 ページをお願いします。
1:17:05	これも事実確認なんですけれども、
1:17:08	和田に貯水槽の東側というのは、
1:17:12	自主設備であって、
1:17:14	耐震性がないので、
1:17:16	全量溢水、
1:17:18	を想定して評価をしている。
1:17:21	という記憶があるんですけども、
1:17:23	そうするとここでスロッシング量をスロッシングにより数量出しても、
1:17:28	あまり意味がないかなとも思っ
1:17:31	てしまったので、
1:17:33	この東側の輪谷貯水量の、
1:17:36	溢水量、これについては、私の記憶が正しいかどうかだけ事実確認をさせてください。
1:17:43	どうぞ。
1:17:49	中国電カタムラタムラです。
1:17:55	一部、
1:17:57	地面を掘った構造になってましても一部
1:18:04	一部、
1:18:05	壁、
1:18:07	何て言うんですかね、何か壁もございませけども、2、
1:18:14	2年ぐらいは地面の中にある、ありますで、
1:18:19	なので、
1:18:22	全量の溢水ではなくて
1:18:26	上からのスロッシングとして評価しております。以上です。
1:18:32	規制庁の服部です。
1:18:35	許可の時もう、
1:18:36	そのような説明でしたっけ私が聞きたいのは、許可の時 2、全量溢水、
1:18:44	を想定して、
1:18:49	水防護苦情の評価をしているという、
1:18:53	記憶があったので、念のために事実確認をさせていただきましたが、
1:18:58	許可のときからその寝具量、スロッシングによる数量だけを評価しているということよろしいでしょうかどうぞ。
1:19:05	あと中国電力田村です。はい許可の時から変更しておりませんで許可のときからスロッシングの評価をご説明させていただいてその量を用いてⅢ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:15	評価を、敷地内に水評価をしております以上です。
1:19:20	規制庁の服部です。はい事実だけ確認しました。私からは以上です。
1:19:30	はい。ありがとうございました。
1:19:33	ここ、
1:19:39	規制庁のタニグチです。
1:19:44	資料の、
1:19:46	4 番目の資料の 128 ページ。
1:19:54	その資料のですねえ。
1:19:57	5 行目のところに、
1:19:59	日生協評価の結果一斉水位は堰の高さ以下である。
1:20:04	燃料プールの冷却機能及び給水機能要するに溢水防護対象設備が機能喪失してないと。
1:20:12	ここにしているとかいうところろうについても、
1:20:15	表現のところですけど、
1:20:18	これは、
1:20:19	127 ページ目に書いてある、* 2、2 で、
1:20:24	高さ 0.3 メートルを設置を設置して、しているってということが確認した結果ということになりますですか。
1:20:46	聞こえてますか。
1:20:50	はい、中国電力のナガタです少々お待ちください。
1:21:08	あ、中国電力仲西です。128 ページの二つ目の段落の被水評価で溢水影響評価の計画説明責任高さ以下であり、倒壊といいますのは、
1:21:20	今おっしゃった通り 127 ページで、衛藤水量に対して十分な堰高さをやっているのでいろんなところに伝播せず、大型設備が守れているということで燃料プール冷却機能及び給水金を有する。
1:21:32	一部体制と機能しないことを確認しているということになります。以上です。
1:21:38	はい。ということは、ここに書いてある文章は 1.3 のところでやった影響評価の結果を書いてあるということであれば、
1:21:46	ここ 1.4 章のところで説明しているものは、
1:21:53	また以下のところの部分が表示されてることになりますか。
1:22:01	中国電力仲西ですその通りです 1.4 の題名は燃料プール初診後の冷却機能と遮へい機能の維持の確認となっております冷却機能については、前段又マタ以降で遮へい機能、
1:22:14	について記載をしております。以上です。
1:22:18	はい。この辺や、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:21	127 ページ目のところの文書の中で、本当は今、関野高沢確認しましたっていうことを書くべきで、
1:22:33	1.4 のところは、また以下のところろう表現するのが趣旨かなと思います。ちょっと、
1:22:39	この辺の書きっぷりがちょっとよくわかりわかりにくいので、
1:22:45	もう少し文章の書き方を考えてください。
1:22:54	中国電力の長田です。この 1.4 のところはちょっとすいません繰り返しなり恐縮ですが、
1:22:59	その信号に燃料プールの冷却機能、
1:23:03	ですね、
1:23:06	冷却機能とあと残った水で遮へいが維持できるかとそういう
1:23:13	ことを説明したいところですので、また以降だけが、ここの説明目的ではなくてその前段のところも、
1:23:23	はい、えっと、燃料プールの冷却機能及び給水機能を有する溢水防護対象設備が機能喪失しないということも、説明している内容になります。以上です。
1:23:34	はい。
1:23:36	渡してることはわかりますけど、例えば、
1:23:39	ここは前ページで記載している、* のところで、そういう評価をしたとかそういう書きっぷりをちょっと追加して、よくわかりやすいように考えていただきたいと思います。
1:23:56	東北電力仲西ですわかるように記載するようにします。以上です。はい。それから今話題が上がってる 127 ページ目のストレス小 2 のところですけど、
1:24:09	この計算をするにあたって使った耐震BCクラス機器の破損による水量、
1:24:16	ここ 104。
1:24:17	立米って書いてある。これの根拠ってのはどこに書いてありますか。
1:24:27	中国電力仲西です。136 ページの表の 7 ポツ 3-8 に、内訳を記載しております。以上です。
1:24:38	先ほどのご指摘でこの辺がわかりやすい、なるように呼び込みとして分かる記載に対応いたします。以上です。そうですねちょっと前後している表現なってるので、
1:24:52	この辺の引っ張りをきっちり書いていただかないと、どこから引用されてるのかわからないので、事業先等をきっちり書いていただきたいと思います。よろしくをお願いします。
1:25:13	大丈夫ですか。
1:25:18	中国電力仲西です了解いたしました。はい。以上です。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:23	以上です。
1:25:35	はい、ありがとうございました。他ご質問ある方。
1:25:38	いらっしゃいますか。
1:25:41	ナグラです。よろしいですか。
1:25:45	はい。お願いします。
1:25:52	今複数の人からいろいろ指摘をされた内容について、
1:25:57	何を言われてるか理解できてますか。
1:26:00	この資料の責任者、お答えください。
1:26:06	はい。中国電力の田村です。
1:26:09	はいちょっと資料、
1:26:11	数字の結びつきとか、モデルであればモデルの諸元を、
1:26:17	モデル図にも、
1:26:19	きちんと書くとかそこら辺の、
1:26:21	うん。
1:26:22	ちょっとわかりにくい記載になっているところをわかりやすい記載にする必要があると理解しました。以上です。
1:26:32	ナグラです。
1:26:34	まず資料そのものの、
1:26:37	記載内容に対しての説明性について、
1:26:42	先方とかいろんなその設定インファースの根拠とか、そういったところの説明性を上げてくださいと。
1:26:52	いうことと、あとそれは説明性の向上なんでいいんですけど、
1:26:57	中身そのものの妥当性を確認していく上で、
1:27:02	引用している数値とか条件、
1:27:05	それから等、文章と図表の関係とか、要は文章で書いてあることの根拠がちゃんと
1:27:15	関連したものとして図表で示されているかとか、そういうところを、実は、
1:27:21	読んでいくときに、
1:27:23	それをトレースちゃんとできることが重要なんですけど、
1:27:28	これ私も読んでいて、安心して読めない。
1:27:32	どこにどの、どの数値が入ってるのかいきなり数値が出てきて、今日も説明があったんですけどそれは、実は先のページ載ってるんです。
1:27:41	これは普通説明としてはあまり聞かないですね。
1:27:47	ちゃんと数値が。
1:27:48	もともとあったものに対してそのあとで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:27:51	通知を引用する分にはいいんですけど、
1:27:55	そういったところのトレーサビリティがちょっと不十分なので、この資料を読むのに審査官はものすごい時間がかかっていると思います。
1:28:06	私もう、
1:28:07	昨日、夜、ちょっと、
1:28:10	これを見たんですけど、この分量でいったら1時間で読めるのかなと思ったら、実は読めませんでした。
1:28:18	そういう意味で、
1:28:20	トレーサビリティをもう少し向上させていただかないと、
1:28:24	これ審査した後とかそういったところでトレースできないことになりうるなりかねないので、もとより、妥当性を確認する際に、
1:28:35	数値が追えないと。
1:28:37	これが妥当かどうか判断できないということにもなりかねないので、そういう意味で、
1:28:43	資料に関しては、もう少し説明性の向上、それからトレーサビリティの向上確保という観点での、
1:28:54	資料の高度化というものがないといけないのかなというふうに考えております。
1:29:02	ここら辺の改善とかを、よろしくお願いします。
1:29:07	そうしないと、ヒアリングとかヒアリング資料を審査官が読むのに非効率的になって時間がかかりかかって、
1:29:15	というのが問題これが審査の遅れを顕在化させる、原因にもなりかねないのでここら辺の配慮をお願いしたいと思います。私からは以上です。
1:29:26	はい。中国電力のアガワです。名倉さんのコメント方10承知いたしました。
1:29:33	説明性の向上ですとか、きっちりとトレーサビリティが追えるような、資料作りの方に、
1:29:39	考慮してやっていきたいと思います。
1:29:41	コメントありがとうございました。
1:29:49	規制庁岩崎です。はい。
1:29:53	それでは、
1:29:56	はい。
1:29:58	規制庁からは以上です。
1:30:16	何でえっと、
1:30:18	残りの部分の説明の方お願いします。
1:30:24	中部電力仲西です。では後半の部分の説明をさせていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:31	資料ナンバーが3番。
1:30:33	6-1-1-9-5 洪水防護に関する施設の調査設計をお願いします。
1:30:41	まず、めくっていただいて、目次ですと当社では洪水防護に関する施設に関して設計の基本方針、要求機能及び性能目標、
1:30:52	機能設計についてご説明します。
1:30:56	ページ1ページをお願いします。
1:31:00	と概要ですと本資料は、一部に関する施設の設備分類、要求機能、性能目標を明確にして、
1:31:09	各機能の設計に関する説明します。
1:31:14	2ポツ、設計の基本方針です、防護すべき設備が用意される機能速な恐れがない、ないようにするため、また、
1:31:23	SA物質を含む液体が管理区域外伝播する恐れがないようにするため、
1:31:28	このような水分に関する施設を設置しています。
1:31:33	次のページ2ページをお願いします。2ページの図2-1に洪水防護に関する施設の設置フローを示しています。
1:31:44	機能設計につきましては、図中左下4ポツ、本書の4ポツ5でご説明します。耐水ので荷重に対する強度計算、また耐震計算につきましては、
1:31:55	添付書類の6-2、もしくは6-3の別添3でご説明します。
1:32:02	3ページをお願いします。
1:32:07	3ページの要求機能及び設計性能目標です。そ設置目的別に洪水を伝播を防止する設備、被水影響を防止する設備、排水を期待する設備に分類をしています。
1:32:20	3ポツ、1、洪水伝播を防止する設備です。
1:32:24	水伝播を防止する設備として、水用水密扉、水用セキ等を設置しております。保全工事等の際の部分についてご説明させていただきます。
1:32:35	6ページをね。
1:32:36	お願いします。
1:32:42	6ページ、(12)大型タンク隔離システムについて記載をしております。大型タンク隔離施設施設につきましては、
1:32:51	地震時及び地震後においても、配管破断時の洪水量を低減する機能を維持することをせ、機能設計上の性能目標としております。同様に、(12)燃料プール冷却系弁閉止システムを記載しております。
1:33:05	同様に地震時及び地震後においても配管破断時の洪水量を低減する機能を維持することを、
1:33:10	機能設計上の性能目標としております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:15	続いて 6 ページの下、3 ポツに、SHを防止する設備です。
1:33:19	エスエイチを防止する設備として、防護すべき設備に被水防護カバーを設置しております。
1:33:27	7 ページお願いします。被水防護カバーの性能目標としましては、地震時及び地震後においても防護すべき設備の健全性を確保するために、動きを維持することを、機能性能上の性能目標としております。
1:33:41	7 ページの中段 3 ポツ 3 排水を期待する設備です。
1:33:46	排水を期待する設備として富島入口は通水扉を設置しております。
1:33:53	3 ポツ 3 ポツ 3 の性能目標です。
1:34:00	通水扉の性能目標としましては、地震時及び地震後においても、下水道以上の排水機能を維持することを機能設計上の性能目標としております。
1:34:10	8 ページをお願いします。
1:34:12	8 ページの表の 3-1 に溢水防護に関する施設の評価区分として、要求機能、医師防護に関する施設と評価項目を記載しております。
1:34:22	4 ポツの機能設置について説明します。
1:34:28	4 ポツ 1 店舗をボイスする設備、
1:34:31	としましては、
1:34:34	まず一つ目が、イスイ用の水密扉です。
1:34:38	地震時及び地震後においても溢水伝播防止に必要な高さを丸田笠間の取水性を維持する設計としております。具体的には、(1)の溢水用の漏えい試験にて、
1:34:49	補正の確認しております。
1:34:52	9 ページに、
1:34:53	の図 4-1 に、溢水用水三戸等へ支店概要を示し、示します。
1:34:59	同様に 9 ページに水をセキ、
1:35:03	次、10 ページに溢水を防水扉等を記載をしております。
1:35:09	16 ページをお願いします。
1:35:15	16 ページに地下水位低下設備の設置方針を記載しております。
1:35:21	地下水位低下設備の要求としまして想定される地下水の収支量を上回る設計としており、表の 4-1 に地下水位低下設備の仕様を記載しております。
1:35:31	17 ページをお願いします。
1:35:35	破綻隔離システムの設計方針です。(1)の設備構成です。地震大信号、原子炉スクラムをチェンジした場合に、復水貯蔵タンク、
1:35:46	補助復水貯蔵タンク、ろ過水タンク及び純水タンクに接続する配管破断箇所の溢水を自動隔離する目的で設置しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:56	18 ページ。
1:35:58	から、まず、統括担当者断面の配置図を 18 ページ 19 ページ 20 ページに示しております。21 ページに、システムの概要を示します。
1:36:08	22 ページの図 4-14 に、遮断弁のインターロック地震大信号により弁を閉止するインターロックになっております。
1:36:18	22 ページ、4 ポツ 1 ポツで燃料プールで着て、
1:36:22	システムの設計方針です。
1:36:25	大型タンク遮断システムと、
1:36:27	同様に、地震時に溢水を自動隔離する設計としており、図 4-15 に、の配置図、
1:36:36	次のページ 23 ページをお願いします。
1:36:38	図 4-16 にシステムの概要。
1:36:41	4、図 4-17 に、
1:36:43	インターロックの配備を記載しております。
1:36:48	23 ページ 4 ポツ 1 ポツ 11 循環水各システムの設計方針です。
1:36:57	方針としましては、漏えい検知と地震大信号のAND信号で展示し、
1:37:04	溢水を確認するものになっております。章 4-2 に、警報発生後の隔離時間の設定についてそれぞれ設定時間と弁閉止時間を記載しております。
1:37:13	25 ページ図 4-18 に、
1:37:16	漏えい検知循環水ポンプ出口弁及び復水器出入口弁の配置図、4-19 にシステムの概要を示しております。
1:37:28	27 ページをお願いします。
1:37:31	4 ポツに被水Hを防止する設備です。
1:37:34	28 ページ図 4-21 に被水防護カバーの概要図とモニターに多い形で、
1:37:40	サーバを設置しております、図 4-22 にカバーの配置図。
1:37:45	を示しております。
1:37:47	29 ページをお願いします。
1:37:49	水防護カバーのヘッド被水試験を実施しております。
1:37:54	と試験条件としましては、放水量毎分 12.5 リットル、
1:37:59	プラスまず 0.625 とJISのC02902003 電気機械器具の外郭による保護等級に基づいて実施しております。
1:38:09	ここ、途轍箇所リストでも等を示しておりますが、判定基準を明確化することを目的に、もう被水防護カバーの内部も漏水がないことを判定基準に修正をしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:23	4 ポツパンさんに廃措置対応設備として通水扉の設置方針を記載しております。
1:38:31	補正のときにお出ししたものからマスキングを削除しております。EPのまとめ資料段階でマスキングを削除していた。
1:38:39	すべて記載をせずに提出しておりましたが、補正書の段階で、させていただいてしまったので今回欠席させていただきました。
1:38:49	29 ページの図 4-23、下にそれぞれの概要図を、
1:38:54	に 30 ページ、図 24 年配置図を記載しております。
1:38:59	30 ページからは通水扉の通水式について記載をしており、
1:39:04	試験結果を 32 ページ、図 4-27、通水扉越流水深と流量の関係を示しております。
1:39:16	続きまして、年、
1:39:18	補足説明資料資料ナンバー
1:39:20	4-1 ページ、162 ページをお願いします。
1:39:26	資料ナンバー3 の補足説明資料になります。
1:39:29	162 ページが、9 ポツ 6 地下水位低下設備についてです。
1:39:38	汚水低下設備について、図 9 ポツ 6 ポツ 1 に、設備の概要図を記載しています。
1:39:45	2 ポツ 2 へと信頼性について記載をしています。
1:39:50	水ポンプを 4 台、
1:39:52	水系を 2 台、
1:39:54	設置し、いつ系列が故障等に運用できなくても別系統では、排水できる設計としております。
1:40:00	9 ポツ 6 ポツに、
1:40:02	図 2 の、
1:40:04	井戸内の設備の概要図を示しております。
1:40:09	172 ページをお願いします。
1:40:12	9 ポツ中経年劣化事象の保全内容です。
1:40:16	配管につきましては磁気弁当の定期的な開放点検時に、目視、
1:40:22	漏えい試験、日常点検等を実施しており、
1:40:25	有意な劣化がないことを確認しております。
1:40:31	173 ページの表 9 ポツ 10-1 の経年劣化事象の保全内容を示しております。
1:40:37	次のページ、174 ページにも衛藤さん。
1:40:41	示しております。
1:40:43	175 ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:46	9 ポツ中に水密扉の開閉運用につきましてです。
1:40:51	まず体表の、
1:40:53	12 に、鷺見側の設置箇所と設置数を、
1:40:57	を示しております。
1:40:59	水密扉につきましては、常時閉止運用としております他場と一時的に開放した場合も、都度確実に閉止する運用としてます。中央制御室にて遠隔で監視不要な開放が、
1:41:12	にされた場合は、閉止操作を行っております。
1:41:16	防護と別途兼用している水密扉を施錠管理を実施しております。資材搬入等で作業性の観点から、長時間開放する必要がある場合は申請手続き等を実施して、注意事項を留意した。
1:41:27	上で、長時間の開放化としております。
1:41:30	177 ページをお願いします。
1:41:34	水密扉の警報装置についての説明になります。
1:41:41	自主設備として設置しております水密扉の警報装置につきましても、各水密度に応じた地震力に対して、
1:41:48	要求する。
1:41:49	機能を維持する設計としております。
1:41:52	図 1 に水密扉用の警報装置の
1:41:55	構成図を示します。
1:41:58	中央制御室に隣接する区画、または中央制御室に警報が鳴る。
1:42:03	補正としております。
1:42:06	179 ページからは角側の配置図と、
1:42:10	あと施錠管理警報管理耐震重要度分類を示しております。
1:42:18	以上が説明となります。
1:42:26	兄弟はさっきさ、ありがとうございました。では、
1:42:30	今の説明に関して、
1:42:33	質問がある方。
1:42:35	いらっしゃればどうぞ。
1:42:38	何か植木さん先ほど資料の 3 番に何かご質問ある感じでしょうか。
1:42:44	いかがでしょう。
1:42:48	規制庁、植木です。
1:42:50	1 点だけ、
1:42:53	んなんですけど、資料 3 の
1:42:58	23 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:01	お願いします。
1:43:05	これもいうて一井店 11 位ですね循環水隔離システム、
1:43:13	の設計方針のところ、
1:43:15	けど、
1:43:16	これの一番下のパラグラフで、
1:43:23	地震を検討する。
1:43:25	循環水系配管破断からの溢水に対して、
1:43:30	漏えい検知信号、及び、地震大信号。
1:43:35	を検知してっていうふうに書いてあるんですけど、
1:43:39	これは、
1:43:42	漏えい検知信号等、地震大、
1:43:46	信号っていうのは、
1:43:48	条件としては、安藤なのかは、なのかっていう。
1:43:54	教えてください。
1:43:58	中国電力仲西ですAND条件になります。以上です。
1:44:04	規制庁、宇井です。そうすると、例えば動衛研信号が、
1:44:11	出た場合、
1:44:13	でもあの時身体、
1:44:16	でなければ、うん。
1:44:18	藤。
1:44:22	閉止はしない。
1:44:24	という、
1:44:25	どうですか、或いは逆に市新大信号。
1:44:29	出ても、漏えい検知がなければ、
1:44:34	その編集はしないという、そういうこと。
1:44:39	両方起きないとしないと。
1:44:42	そん理解でよろしいんでしょうか。
1:44:45	中国電力ナカニシておっしゃる通り地震大、
1:44:50	信号が
1:44:51	起こったとしても、漏えいがなく配管破断が認められない場合は、維持する必要ありませんので、閉止はしないです。あとは逆に地震大ではなくて、
1:45:02	単純に漏えい検知を拾った場合にも通常の
1:45:06	発電所の管理の中で、閉止はせずに確認する流れになります。以上です。
1:45:16	規制庁池です。わかりました。私からは以上です。
1:45:25	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:26	他、何かございますか。
1:45:36	なさそうですか。
1:45:43	Webの方は特にはないですかね。
1:45:51	ちょっとお聞きしたかったのは、岩崎君これって、
1:45:56	岩崎さんこれって内部市の方ではもうヒアリングして確認してる内容ですか。
1:46:09	イワサキです基本設計方針とかってことですかね。
1:46:18	浦です。
1:46:22	防水溢水防護に関する施設の詳細設計という資料です。
1:46:47	いえ、2回目か1回目かっていうご質問ですか。だとすれば1回目だと思っ ていますが、
1:46:55	私が聞いたかったのは、今日は耐震のいろんな関係者が出てるんだけど、
1:47:00	これは内部医師の関係者だけでもヒアリングが終わって、そのあと耐震の関 係者のヒアリングをしてるのか、それとも、これは一堂に会して、
1:47:10	初めてやってるヒアリングですかということ聞いてます。
1:47:38	規制庁やイワサキです
1:47:45	私は基本設計方針側で一旦確認して、
1:47:49	いたんでそのあとに、みんな集めてだと思ってるんですけど、事業者、
1:47:54	中部電力ってどういう認識ですか。
1:48:00	中国電力田村です。はい。基本設計とは前回お示し、ご説明させていただい ておりますけどこの詳細設計、今たいま
1:48:10	詳細説明させていただいた本日も説明させていただいてる資料は、本日が初 めてのご説明になります。で、内容が6件。
1:48:22	野間セキとかの話と、議論の内容がは、
1:48:25	含まれておりますので、
1:48:29	事前関係者等土建関係者にご出席いただいていると理解しております以上で す。
1:48:40	名倉です。わかりましたということは、規制庁側のDBの関係者の方は、この説 明内容でほぼ異論がないということですかね。
1:48:53	なんか耐震関係シャー、
1:48:56	が結構指摘をされていてそもそもDBの関係者の指摘があまりなかったのもう すでに聞いている内容なのかな。
1:49:04	だからあんまり異論がないのかなと思ったんですけど、ただ内容そのものが見 ていくと、
1:49:09	結構何か読めないところがいろいろあったりするので、そこのところはちゃんと 読めているのかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:49:15	ちゃんとトレースできてさっきの計算もそうですけど、これDBのか担当者そのものがトレースできてるのかなって疑問に思っただけです。以上です。
1:49:42	きちっとイワサキですわかりましたすみませんありがとうございます。
1:49:55	規制庁の服部です私から2点ほどちょっと簡単な、他事実確認を行います。
1:50:03	資料3番の3ページお願いします。
1:50:11	溢水伝播を防止する設備なんですけれども、
1:50:16	ちょっと中国電力の考えをちょっと確認したくて事実確認をするんですけれども、
1:50:24	津波の流入防止のための、
1:50:28	タービン補機海水系の隔離システムについて、
1:50:34	これ一はですね。
1:50:37	資料の、
1:50:43	②のところ
1:50:46	溢水量評価する時2、
1:50:54	鏡伊吹海水系の隔離システムを考慮した上で、
1:50:59	溢水量評価してるんですけれども、
1:51:02	この津波伝播を棒、すいません溢水伝播を防止する設備の中には、
1:51:10	入らないんでしょうか。それとも、
1:51:13	入れた上で
1:51:16	本来このシステム、各システムは、津波の流入防止を目的としたものであるというような
1:51:23	補足説明をするものなのか。
1:51:27	そこら辺の位置付けが少し不明確なので、
1:51:31	中国電力の考えを説明してください。どうぞ。
1:51:37	はい。中国電力の永田です。先ほどご指摘ありました件は、はい。おっしゃられた通り溢水量TSで大分海水系も考慮しております。
1:51:47	どっち、津波と溢水と、
1:51:51	どちらで設備をエントリーさせていただくかという、
1:51:54	ところで、設置許可の時にも、
1:51:58	議論をさせていただいたところありますけれども、循環水系は、浸水防護重点化範囲の直接の境界ではなくて、溢水上の対策。
1:52:10	それから、タービン補機海水系は直接浸水防護重点化範囲に、
1:52:15	海水を入れないという対策になりますので、整理といたしましては、服部さんおっしゃっていただいたように

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:24	タービン補機海水系の方は、津波の津波Sクラスということで、津波側で施設の
1:52:32	設計等のご説明をさせていただきというふうに整理しております。以上です。
1:52:40	規制庁の服部ですそうすると。
1:52:42	SWISS4 年版。
1:52:45	を防止する設備等、津波の流入を防止する設備については、
1:52:50	どちらか一方にしか、どちらか一方のその主たる目的の方にしかエントリーをしないような、立て付けで説明を行う。
1:53:01	中国電力が行う補考え方だということでもよろしいでしょうかどうぞ。
1:53:08	はい。中国電力の長田です。はい。そのように整理をさせていただいております。以上です。
1:53:15	規制庁の服部ですはい。わかりました。
1:53:20	9 ページをお願いします。
1:53:28	津波の伝播を防止する設備の中で、
1:53:32	寄付、基本的にはパッキン、
1:53:38	D、
1:53:39	パッキンとかコーキング剤で止水処置を実施する構造とするというふうに記載されています。
1:53:45	こちら辺の記載はですね、先行と同様の記載ですので、
1:53:50	問題はないと考えていますけれども、1 点
1:53:55	事実確認だけ行いたいのは、
1:54:00	これらの設備載せ、
1:54:02	設備というのは、
1:54:04	弾性し、
1:54:06	状態での設計ということで理解をすればよろしいでしょうか。どうぞ。
1:54:13	中国電力のコウゲです。はい。
1:54:16	津波、じゃないや藤碓井の強化となる設備、水密扉セキ等については、すべて弾性で設計することとしております。以上です。
1:54:30	成長ハットリです。
1:54:32	そうすると、
1:54:34	地震によって弾性変形をしても元に戻るということがわかったんですけども、
1:54:40	その弾性偏見によってパッキンの機能維持、
1:54:46	というのは何か。
1:54:48	試験なり何なりして確認しているのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:53	それとも定性的、定性的に確認しているのか、その点について中国電力の考えを説明してください。どうぞ。
1:55:02	中国電力のコウゲです。特段ですね試検討を行っているものではありませんが、さっき度は弾性体でございまして、これを
1:55:14	金具を持ってボルトで締め付けるということで質疑を行っております。
1:55:19	国体の変形等をあろうかと思いますが、
1:55:26	金物応答よりか、幾らかやわらかいものになっておりますので、先行してパッキングが損傷するということはないというふうに考えております。訂正的な考え方。
1:55:40	以上です。
1:55:41	規制庁の八田です。はい。今の説明だと、
1:55:45	その扉とかそういう設備の弾性変形量よりも、パッキンの許容弾性設計料っていうのがちょっとわかりませんけれども、
1:55:56	パッキンが一弾性状態を維持するために必要な変形量よりの方が大きいので、
1:56:04	扉とかが変形しても、パッキン等が塑性化したりとかその隙間が開いたりとかそういうことはないというような、
1:56:15	評価を行っているということでよろしいでしょうかどうぞ。
1:56:20	中国電力のコウゲです。あそこまでの評価は行っておりませんで、ひずみ等はわずかである、8 設備小さいものでございますので、ひずみの影響は小さいというふうに思っております。
1:56:35	特段パッキンの組成ウェイ範囲に至らないというような、定性的な評価は行っておりません。以上です。
1:56:45	規制庁の八田です言い方を間違えましたけれども、定量的な評価を行ってるとはなくて定性的に、
1:56:52	そういうことでパッキンの機能は維持されるというふうに考えているということでもよろしい要するに、男性、
1:57:01	金属の弾性変形量よりも、パッキンの方のダンスきよが機能維持する段前世
1:57:09	変形量の方が、
1:57:11	おそらくかなり大きいので、また、パッキンが扉の弾性変形によって損傷することはないということを定性的に
1:57:24	考えて、問題ないとしているというような理解をしたんですけど、その通り、それでよろしいでしょうかどうぞ。
1:57:32	中国電力のコウゲです。はい。説明。申し訳ありませんでした。羽鳥さんおっしゃる通りでございます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:39	規制庁の服部です。はい。わかりました。
1:57:42	あとこれはちょっと
1:57:45	言っていていかどうかわからないんですけど 31 ページお願いします。
1:57:50	先ほどちょっと気づいたんですけど、29 ページの方で、マスクングをします。
1:57:57	というような説明があったと思うんですけど、
1:58:00	31 ページの、
1:58:03	フラップ小
1:58:08	小扉フラップのところはマスクングはいらないんですかどうぞ。
1:58:15	中国電力中西です。ちょっと私がすいませんもう一度ちょっと説明させてくださいと補正書の時はですねこの図の 23 ですか、図の 4-25 ですかをすべてマスクングで提出させていただいておりました。
1:58:29	EPの審査の段階で、この資料 1 のマスクング不要として出していたので、本来は不要なものを間違って誤ってつけておりますので今回すべて削除をして提出させていただきましたということでございます。以上です。
1:58:48	規制庁の服部です勘違いしてましたそうすると 29 ページの、
1:58:54	角が取れている四角いのは、これマスクング
1:58:59	の印ではないということでしょうかどうぞ。
1:59:03	中国電力ナカニシさんのすいませんしたところのカードが取れてるのはマスクングではございません。以上です。
1:59:11	規制庁のハツリですはいわかりました。私は以上です。
1:59:20	はい。ありがとうございます。市長矢崎です。はい、ありがとうございます。他、何かございます。
1:59:41	規制庁岩崎です。すいません私からちょっと何点か、ごめんなさい私の記憶違いだったらあれだったんですけど、
1:59:49	火、
1:59:52	被水防護カバーについて基本設計方針の方だと何か溢水を防護する。
1:59:59	機能を維持する設計にするみたいななんか、記載ぶりだったと思うんですけど。
2:00:05	こっちってちゃんとなんか被水防護カバーを非被水影響を防止する。
2:00:11	いうふうに書かれてるんですけど。
2:00:13	これって、
2:00:14	何とか
2:00:16	その基本設計方針の方と記載ぶりって合っていましたっけって確認なんですけど。
2:00:24	いかがですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:26	中国電力仲西です。おっしゃっていただいたのは基本方針の時に指摘いただいた件だと思います。
2:00:33	あと 27 ページに記載しています
2:00:37	被水に対する影響を防止する設計とするが正しい記載となっております、
2:00:42	6-1-1 の中の方ではその通り正しくかけております。指摘いただいた 1-1-9-1 は修正して
2:00:50	適正化して再度お出しいたしますのでよろしくお願いいたします。以上です。
2:00:56	わかりましたありがとうございます。阿藤。
2:00:59	4 番 No175 ページなんですけど。
2:01:05	この水密扉の運用って、
2:01:08	精密扉に限らないんですか。この辺の運用の話って、何か保安規定に多分書かれて、
2:01:15	あれだと思うんですけど。
2:01:18	水密扉とか、この辺の運用の話って保安規定に定めますみたいなって、
2:01:24	あれだっけ。
2:01:26	どっかで歌ってました基本設計発疹ってうたってました。
2:01:34	中国電力中西です。運用につきましては、前回のヒアリングの時にお示した 6-1-1-9-1 の溢水等による損傷防止の基本、
2:01:44	方針において、衛藤、すべて記載をしております。
2:01:49	以上です。
2:01:55	イワサキsわかりましたありがとうございます。ちなみに、あれ、そっちの方っていうところまで詳しく、運用しますっていうのか、記載してましたっけ。何かそこまで詳しく書いてあったような気がしたんですけど。
2:02:15	中国電力仲西です。基本方針の方にはですね、考え方を記載しておりまして、詳細に示したのが本書になります。
2:02:25	なので、基本方針の方には細かくここまで記載はしておりません。以上です。
2:02:34	イワサキえさわかりました何ていうかその結びつきがあれば、別に大丈夫かなと思いますので、その辺の
2:02:44	ちゃんとうたってる部分がわかればいいかなと思う、思いを持ったんでちょっと。
2:02:51	聞か聞いた次第ですわかりましたありがとうございます。
2:03:01	あ、えっとそれではこちらからは特にはないんですけど、WEBの方もないということでもよかったですかね。
2:03:12	アクセル、
2:03:18	あ、はい堀家さんどうぞ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:20	単なる誤記だと思うんですけど。
2:03:23	資料の、これは何番だ。
2:03:32	登録をとるもんですからこれは何番だ
2:03:37	市鶴さんどこだから、3番の資料の、
2:03:42	23ページなんですけど、
2:03:46	図の4-17で、
2:03:50	インターロック図なんですけど、下のろ過脱塩装置パイパス面へって書いてあるんですが、これ甲斐の間違いだと思いますんで、一応言っときます。私からは以上です。
2:04:05	中国電力の長田です。はい。ご指摘ありがとうございます
2:04:09	修正して、またご説明させていただきます。以上です。
2:04:18	よろしくお願いします。
2:04:22	はい、ありがとうございました。では服部さんどうぞ。
2:04:25	規制庁の服部です聞かないでおこうと思ったんですけどちょっと皆さん、聞くことが効いてないようなので私、ちょっと1点だけ確認させてください。
2:04:35	④番の資料の175ページなんですけれども、
2:04:40	水密扉の運用について、
2:04:43	長期長時間開放する必要がある場合は、
2:04:47	注意事項に留意した上でって書いてるんですけども、
2:04:52	この注意事項についての具体的な説明というのは、
2:04:56	どこかこの運用の方で、
2:04:59	説明があるんでしょうか。どうぞ。
2:05:09	はい。中国電力の長田です。はい。
2:05:13	先ほどありましたように水密扉の具体的運用は保安規定の方にまた定めて参ります。ちょっとここあまり詳しく書いておりませんが、当然
2:05:26	溢水事象とかそういうものがあれば、閉止できるようにとかそういうことを、運用を定めて参りますので、それらの
2:05:36	注意事項に留意して、
2:05:40	作業とかで長時間受けるような場合は、そういうものを注意して、
2:05:46	やっていくということで書かせていただいておりますがちょっと、はいすいません具体的にそういう具体的な内容についてちょっとここには書き切れていない状況です。以上です。
2:05:58	規制庁の服部ですはいわかりましたそれはそこで説明するとして、
2:06:03	ちなみになんですけども、
2:06:05	最も大きいというか、主たるその注意事項って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:12	何か簡単に一つぐらいしか、二つぐらい説明することができますが、例えば何か溢水が起こったときに、
2:06:20	その溢水がこう流れてくる。
2:06:23	間に閉止できるのかどうか。
2:06:26	とか、何かそういうような、
2:06:28	何か仕組みがあるのかどうか、何か簡単な、簡単に結構ですので、概要でも、一つ二つ説明できるものがあればちょっと説明いただければ。
2:06:39	参考になるんですがいかがでしょうかどうぞ。
2:06:43	はい中国電力の長田です。具体的には長時間開放する場合は、必ず人を、を配置して、現場の状況を確認できるようにいたします。
2:06:55	例えば、今回溢水ですので溢水異常と、検知されましたら、中央制御室へ警報等が出ますし、それを、
2:07:04	事前に申請手続きという言葉もありますけれども、どこが作業で開いているというのは、
2:07:11	中央制御室でも把握できしておりますので、すぐに閉めるように指示をすとかそういうふうな運用を考えております。以上です。
2:07:22	規制庁の服部です。はい。わかりました。参考になりました。私から以上です。
2:07:39	規制庁矢作です。はい。それでは、
2:07:42	よろしいですかね。
2:07:45	ええ。
2:07:47	規制庁からの指摘は以上となります。
2:07:51	中国電力から何かございますか。
2:07:57	東北電力仲西ですこちらからはありません。以上です。
2:08:03	はい。わかりましたそれでは本日の
2:08:07	指摘事項の確認に移りたいと思います。ご準備の方、よろしいですか。
2:08:31	中国電力仲西です経歴を準備しますのでお待ちください。
2:08:37	はい。よろしく申し上げます。岩崎です。
2:08:52	中国電力仲西です。共有できましたでしょうか額をお願いします。以上です。
2:09:02	はい、岩崎です。こちらは見えております。Webの方何か以上ある方いらっしゃったら、ご発言ください。
2:09:18	それでは、大丈夫そうなので、確認の方をお願いします。
2:09:23	中国電力仲西ですいただいた指摘事項上から読み上げていきます。ナンバー1、今回の解消が補正であることがわかるように記載すること、ナンバー2、
2:09:34	砂流に持ち出しに使用した数値を記載すること。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:38	難波さんとグラフの線を太くしてわかるように記載をすること、ナンバー4 へと解析モデルに埋設ダクトの記載をすること。
2:09:47	メンバーを溢水水位を算出した根拠がわかるように滞留面積等を記載するとはい。
2:09:53	すること、No.6。
2:09:55	地域で設置を記載するとするとして、算出過程がわかるようにすること。
2:10:01	NOだな。
2:10:02	他の結果と水素治水からのまずに対してモデル全体初期水位からの高さわかるように修正すること。
2:10:10	とNo.8、こちらのモデル図に関して、7 ポツ 3-2 に座標を追加すること、ナンバー9、図 7 ポツ 3-5、6 に寸法を記載すること。
2:10:21	ナンバー10、滞留面積をどのように求めたかわかるように設置の位置等を追加すること、No.11、
2:10:28	あと高さを記載すること。
2:10:30	とNo.12、どこモデル図に関して上部空間についても注記等で記載をすること。
2:10:36	No.13 プールの上端の位置を記載すること。
2:10:40	No.14、こちらの図に関して先方を記載して、最大水位がどの位置か最大水位とわかるように記載すること。
2:10:48	あとナンバー15 へと自然現象に関して地すべりと設備の項目について評価した内容がわかるように記載をすること、No.16 と 1 ポツ 3 と 1 ポツ 4 で 1 ポツ 4 行で記載すべき事項を整理。
2:11:01	指定とわかるように記載すること。
2:11:03	とNo.17 上記のご指摘等、熟しますが数値や図の運用が全部結節にされてトレースできるように確認ができること。
2:11:13	ナンバー18、図 4-17 を主修正すること。
2:11:18	以上になります。
2:11:35	規制庁の服部です。15 番をお願いします。
2:11:44	そこはですね、土石流による
2:11:48	タンク損傷、
2:11:52	5 セキ流によるタンク損傷により、
2:11:57	プラントへ与える影響がない。
2:12:20	影響がないとする理由を、
2:12:23	説明すること。
2:12:34	ここは
2:12:36	中国電力の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:12:38	資料の記載をそのまま引用したような形で、
2:12:43	していただければと思う。
2:12:46	はい。
2:12:47	ウエキしてください。
2:12:56	それで結構です。私から以上です。
2:13:09	規制庁植木です。
2:13:12	2番なんですけど、まず、これちょっと括弧書き、最後に括弧書きで、
2:13:22	全、全部プール共通とかっていう
2:13:31	それからあと、使用した数値及び、
2:13:39	獲られた周期の結果を記載することと、
2:13:57	これーなんですけど、
2:14:01	燃料プールなんかはこういう周期が書いてあったりするんですけど、
2:14:06	ちょっと私が先ほど質問したサイトバンクのプールはやはり、
2:14:11	短辺長辺方向の周期が書いていなくて、
2:14:19	その結果に対するちょっと
2:14:22	妥当性っていうのはちょっと注記がないと、ちょっと確認できないので、
2:14:27	数値、周期は一応全部、
2:14:31	共通して、結果を書いてもらいたいですんで、
2:14:35	この書き方って何か、
2:14:39	プールによっていろいろ書き方があってざっくり。
2:14:42	書いてるところとか、細かく周期まで含めて地震動を選定してるやつとかいろいろあるので、
2:14:53	整合をとって、詳細に記載していただきたいと思います。
2:14:59	以上です。
2:15:04	はい。中国電力の石垣です。はい。サイトバンクの方、周期の方を追記しまして、衛藤先ほどの溢水量とか、が短辺方向微兵防護が、
2:15:15	どのような形になるかということがわかるような情報を記載します。また全プールに渡りまして、
2:15:22	情報や周期等をわかりやすく、記載いたします。以上です。
2:15:29	規制庁池ですよろしく申し上げます。以上です。
2:15:35	規制庁の三浦です。
2:15:38	私から解析者についてちょっと情報がいろいろ足りないよという話をさせていただいて、
2:15:44	多分、
2:15:45	7番とか8番とか9番とかみんなその古いんですけど、これ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:50	資料の中で記載されている解析者に対しての情報が足りないってのは共通事項なので、	
2:15:58	高さ関係平面関係がきちっとわかるように、	
2:16:01	示していただきたいと思います。	
2:16:04	ちょっとここに9番10番、11番とかって分かれてしまう。	
2:16:08	ちゃうとあれですけど12番もそうなんですね。	
2:16:11	解析モデルに対する共通していただけます。	
2:16:18	解析モデルに対して、高さ関係平面関係がわかるように、記載を充実させることということで、	
2:16:27		7890
2:16:31		11
2:16:32	12ぐらいかな。	
2:16:36	これのところは	
2:16:38	その一言で結構ですから、	
2:16:43	中国電力田村です。ちょっと背弧	
2:16:47	解析モデルとかのキーワードが広げていなくて申しわけございません	
2:16:51	解析モデルに対して高さとか、Na所見とかがわかるように記載するということを、	
2:16:59	でもそれが789、	
2:17:02	いえ、それぞれの共通事項で一つ教えていただければ結構ですから、	
2:17:08	はいしっかりした記載に、	
2:17:15	すいませんタムラですちょっとスイッチが入っておりませんでした解析モデル。	
2:17:20	に対して諸元を、大きさをしっかり記載することを、共通として、	
2:17:26	残らせていただいて、集約させていただきます以上です。はい、すいませんお願いします。	
2:18:34	名倉です。今ちょうど修正中なので、その間に、一言言わせてもらってよろしいですか。	
2:18:44	事務局電力タムラですお願いします。	
2:18:47	まだ審査は、	
2:18:51	1回2回申請分ぐらいで、審査はまだ序盤かなという認識です。	
2:18:58	それで、審査の序盤で事実確認のヒアリングを実施していく過程で、	
2:19:05	今日のようなヒアリングの何て言うのかな、いろんな細かい事実確認、もしくは指摘っていうのは、記載上の説明性の向上とか、	
2:19:16	それから	

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:18	機械、もしくは数値の整合性とか、そういった観点でのコメントするのはただ出ると思います。
2:19:26	それを一つ一つ書き記して丁寧に対応するというのも必要ですけども、
2:19:32	逆に、丁寧にそういう一つ一つ、
2:19:36	細かく書いていくとそれだけやればいいんだ。
2:19:38	という認識になってしまうのでこれもデメリットがあります。
2:19:42	バランスよくこれを指摘事項にしていく場合は、まず大きなコメントを書いて、
2:19:49	それに対して、こういった箇所が例示として記載されているということが、よりベターかなと思います。
2:19:57	何が言いたいかっていうと、
2:20:00	大きなコメントをちゃんと見ていただいて、
2:20:03	それを
2:20:05	この審査項目、条文だけではなくてそれ以外のところも含めて水平展開を、
2:20:11	図っていく、意識として水平展開を図っていくっていうことが、今の段階では極めて重要です。
2:20:18	これを怠ると、
2:20:20	実は中盤から終盤にかけて、コメントがヒアリングをするたびに増えていって、いらないと。
2:20:27	いう現象が生じます。
2:20:30	そうすると、審査は全然進んでいかない。
2:20:34	済んだ感が全く出なくて、
2:20:36	モチベーションが低下します。
2:20:40	そうすると勢いが落ちて、要は死に体になります。
2:20:46	そういうことにならないためにどうしていくかっていうことなんですけど、
2:20:50	ちゃんと日コメントの水平展開を図れるように、
2:20:55	大きなコメントっていうものをちゃんと、これは分野をかかわらず、分野にかかわらず、すべての間、関係者に情報共有しておくということが必要になります。
2:21:09	今日出たコメントも他のところでもたくさん出ていると思います。同じような趣旨のコメントは、
2:21:15	だからこういったところを水平展開をして、なるべく早い段階で潰すということをちゃんとしていただきたいと思います。
2:21:24	理解できましたでしょうか。
2:21:27	はい。中国電力のアガワです。ご承知、理解いたしました。いわゆる、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:33	ましたように大きなコメントにつきましては、しっかりと水平展開を図ってですね、この資料に対しても同じような、トレーサビリティだとかその辺がしっかり追えるような資料というのを、
2:21:44	作っていくように努力していきたいと思えますので、今後ともよろしく願いいたします。以上です。
2:21:51	規制庁の名倉です。
2:21:53	私、これ、いろんな事業者に言っても大分なっていて夢にも出てくるぐらいなんですけど、何回も何回も同じことを、もっと厳しい口調で言ったこともありますし、
2:22:05	そういう意味で、どの会社にもこれ言ってますので、
2:22:08	それに対する改善は、今までの事業者みんな図っている。
2:22:13	という理解で、ここのところは、意識してやっていただきたいと思います。私からは以上です。
2:22:22	はい。中国の井川です。重々肝に銘じてこれから取り組んできたいと思えます。ありがとうございました。
2:22:40	はい、議長イワサキですありがとうございました。
2:22:44	それでは本日のヒアリング、これで終了したいと思います。ありがとうございました。
2:22:55	ありがとうござい

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。